

“体育会学生のトリセツ”シリーズ

# 23卒体育会学生 就職活動状況調査レポート 【関東】

2021年12月調査

2022年2月発行



株式会社スポーツフィールド

# 目次

## 1. 就職活動状況調査

---

1.1	就職準備イベントの参加有無	4
1.2	OBOG訪問に対する意向	4
1.3	OBOG訪問の実施状況	5
1.4	OBOG訪問を実施した経緯	5
1.5	インターンシップ参加社数	6
1.6	参加したインターンシップの時間	6
1.7	参加したインターンシップ	7
1.8	プレエントリー社数	8
1.9	面接受検社数	8
1.10	内々定社数	8
1.11	内々定の経緯	9

## 2. 志望する条件

---

2.1	志望する業種	10
2.2	志望する職種	11
2.3	志望する勤務地	11
2.4	企業選択のポイント	12
2.5	将来のキャリア	12

# 調査概要

調査対象：2023年3月卒業予定の体育会所属学生

回答者数：1459人

調査期間：2021年12月6日～12月24日

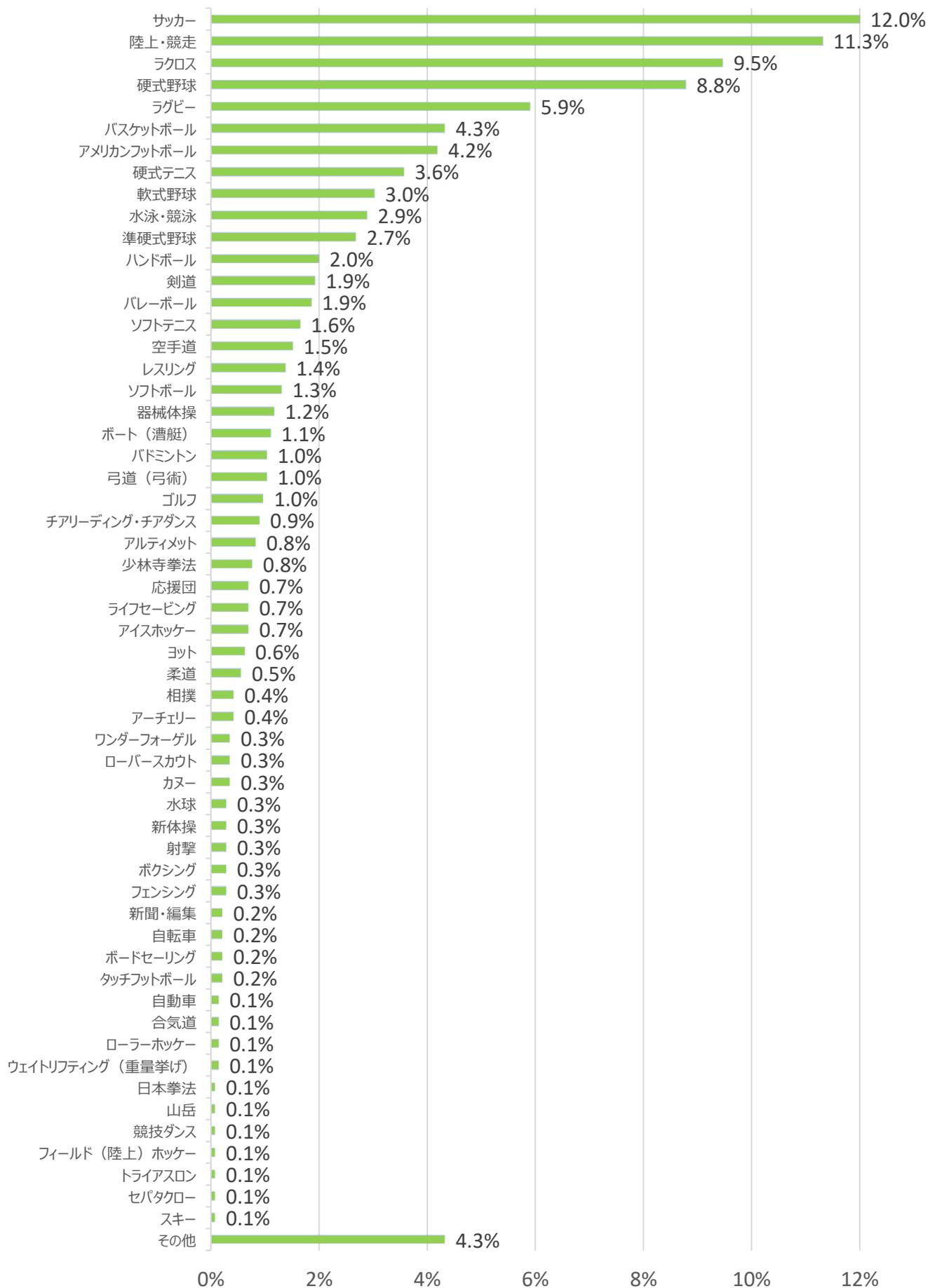
調査手法：インターネット調査

回答者所属大学（78大学）：

青山学院大学, 亜細亜大学, 江戸川大学, 桜美林大学, 大妻女子大学, 嘉悦大学, 学習院女子大学, 学習院大学, 神奈川工科大学, 神奈川大学, 関東学院大学, 共立女子大学, 慶應義塾大学, 國學院大学, 国際武道大学, 国土舘大学, 駒澤大学, 産業能率大学, 淑徳大学, 順天堂大学, 城西大学, 上智大学, 上武大学, 駿河台大学, 成蹊大学, 成城大学, 聖心女子大学, 清和大学, 専修大学, 創価大学, 大正大学, 大東文化大学, 高崎経済大学, 拓殖大学, 玉川大学, 千葉経済大学, 千葉商科大学, 千葉大学, 中央学院大学, 中央大学, 筑波大学, 帝京大学, 帝京平成大学, 桐蔭横浜大学, 東海大学, 東京学芸大学, 東京経済大学, 東京国際大学, 東京女子体育大学, 東京都市大学, 東京富士大学, 東京農業大学, 東京理科大学, 東洋学園大学, 東洋大学, 常磐大学, 獨協大学, 日本工業大学, 日本女子体育大学, 日本体育大学, 日本大学, 白鷗大学, 一橋大学, フェリス学院大学, 文教大学, 平成国際大学, 法政大学, 武蔵大学, 武蔵野大学, 明海大学, 明治学院大学, 明治大学, 明星大学, 横浜国立大学, 立教大学, 立正大学, 流通経済大学, 早稲田大学（五十音順）

※「四捨五入による計算の丸め誤差」が存在するため、値の合計は100%にならないことがあります

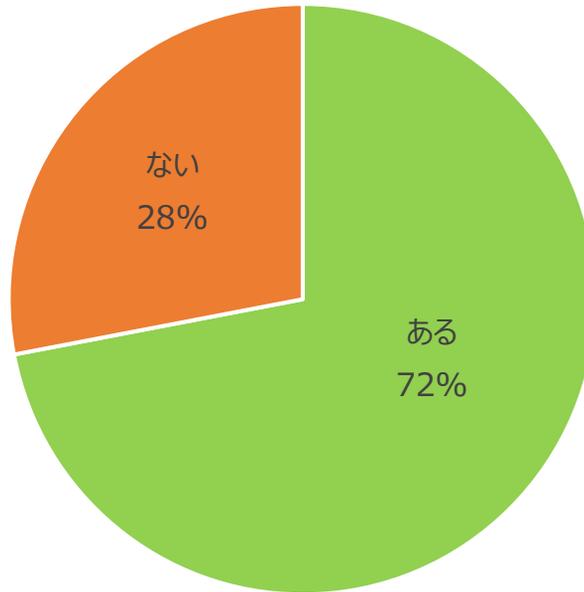
# 回答者所属部活動



# 1. 就職活動状況調査

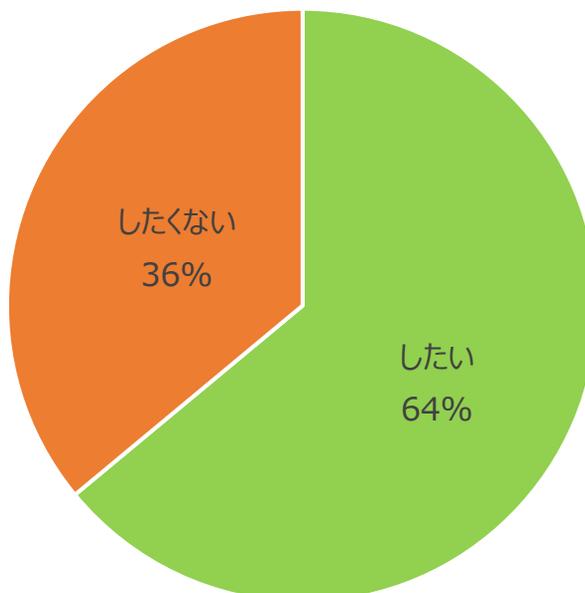
## 1.1 就職準備イベントの参加有無

就活準備イベントに参加したことがある学生は、72%だった。



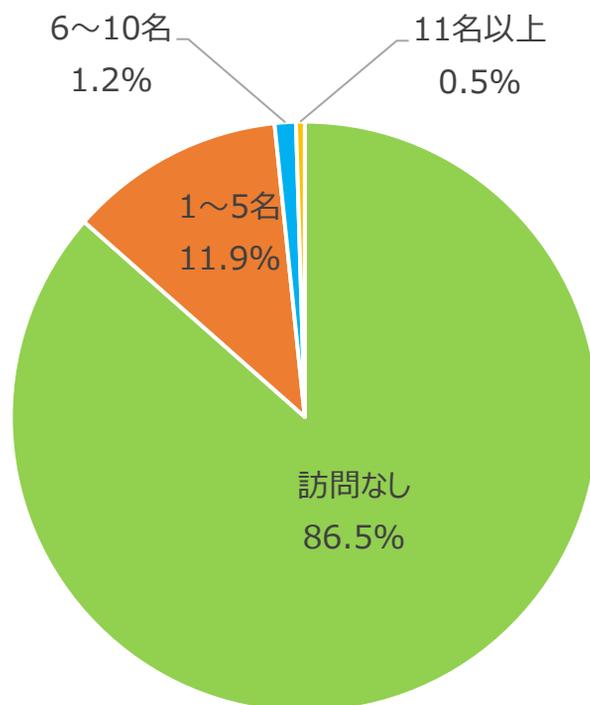
## 1.2 OBOG訪問に対する意向

OBOG訪問を実施したいと回答した学生は、64%だった。



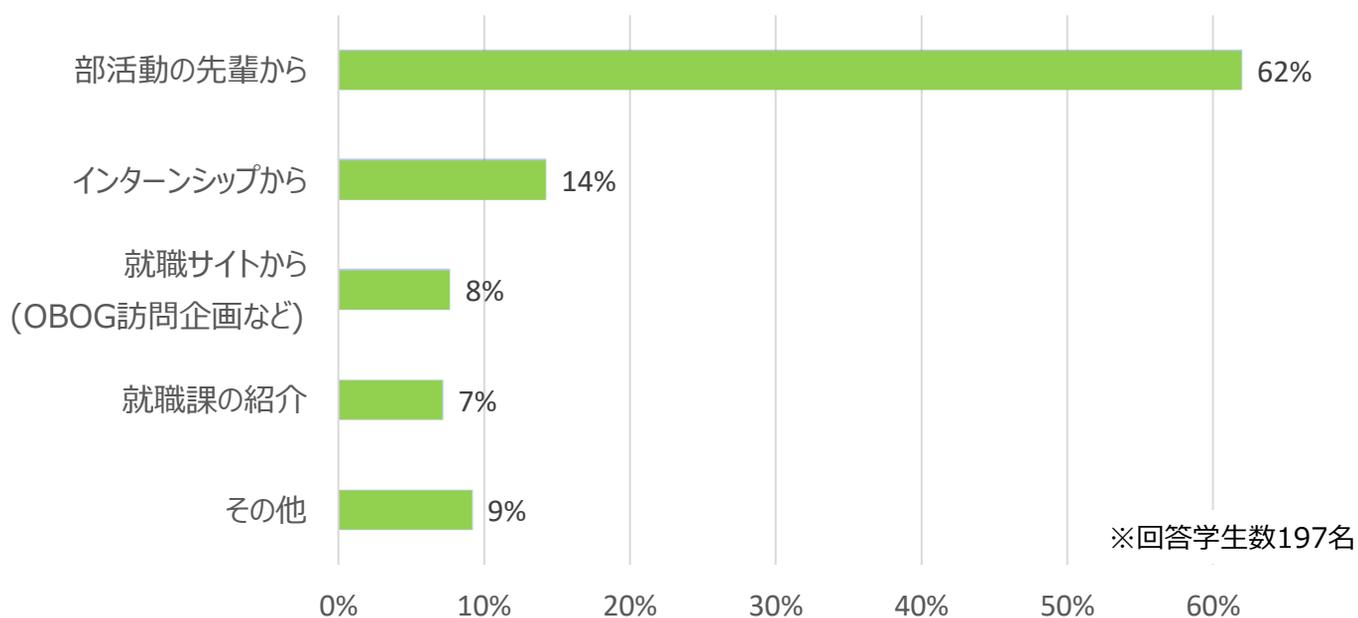
### 1.3 OBOG訪問の実施状況

OBOG訪問の実施状況については、87%の学生が【OBOG訪問をしたことがない】と答えた。



### 1.4 OBOG訪問を実施した経緯

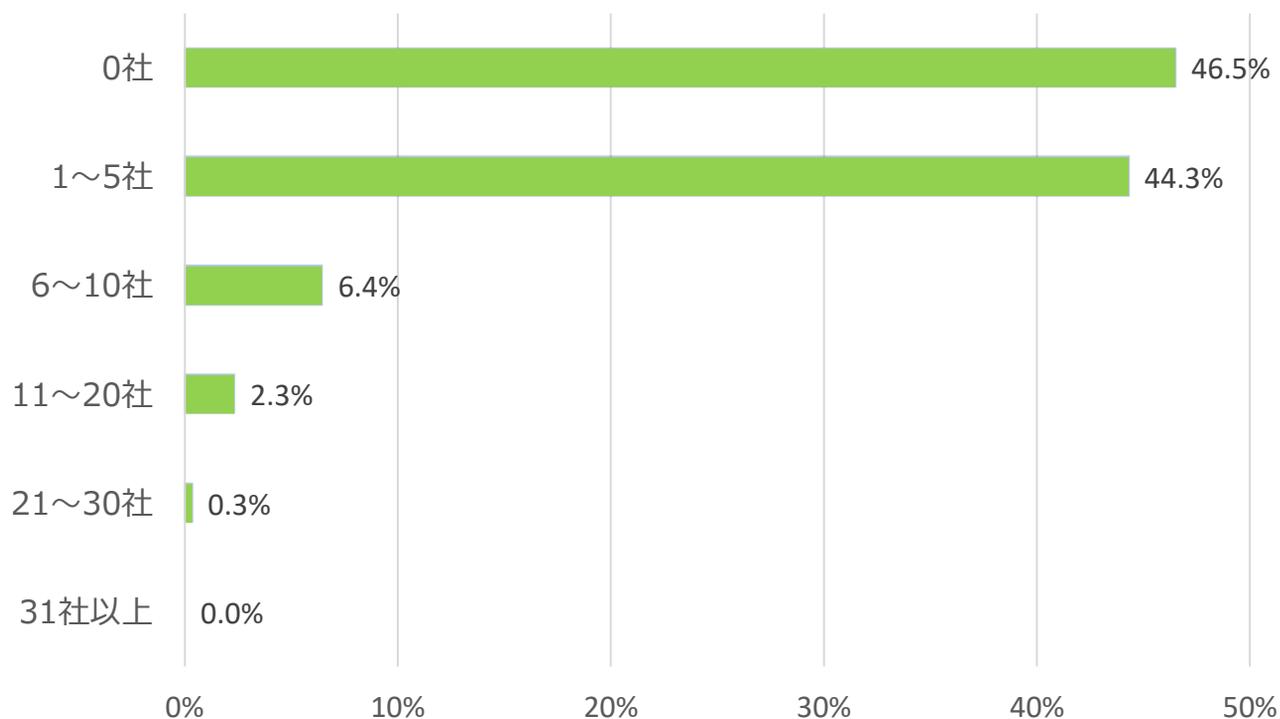
OBOG訪問を実施した経緯として、61%の学生が【部活動の先輩から】と回答した。



## 1.5 インターンシップ参加社数

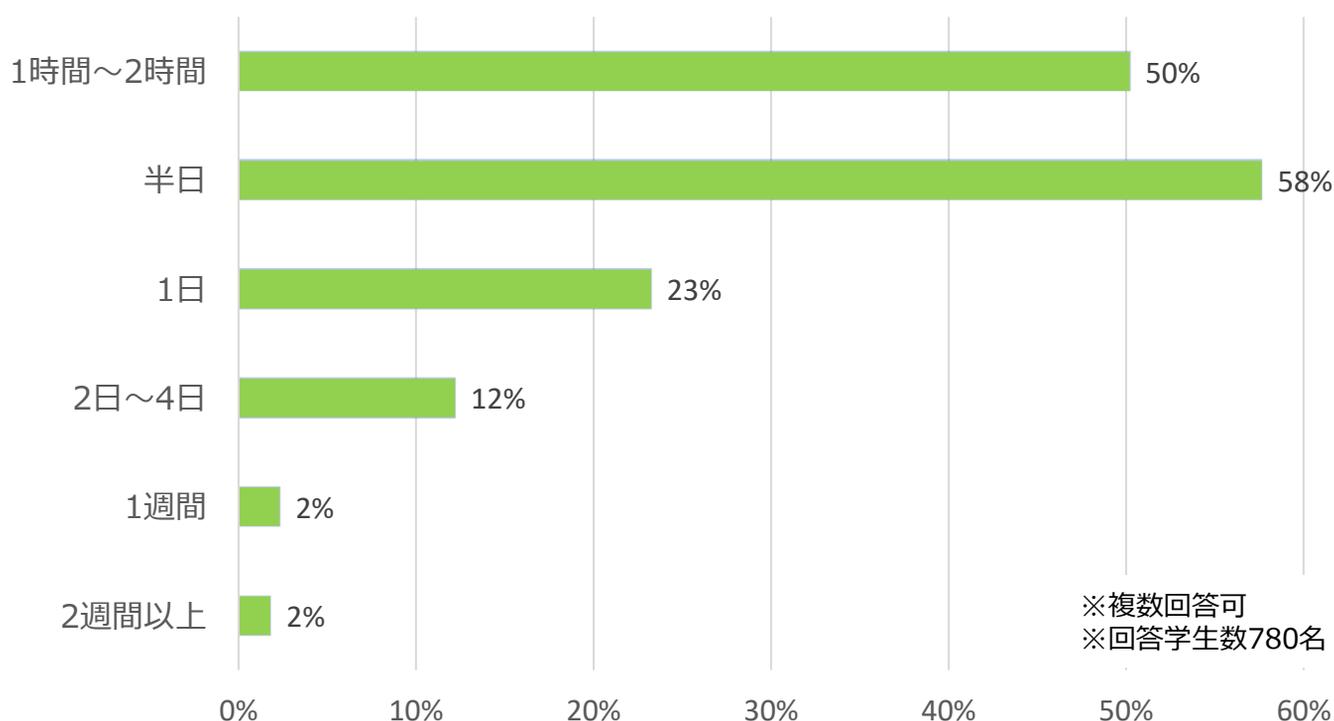
インターンシップに参加した企業数として最も多かったのは【1～5社】となった。

また、約47%の学生はインターンシップに参加したことがなかった。



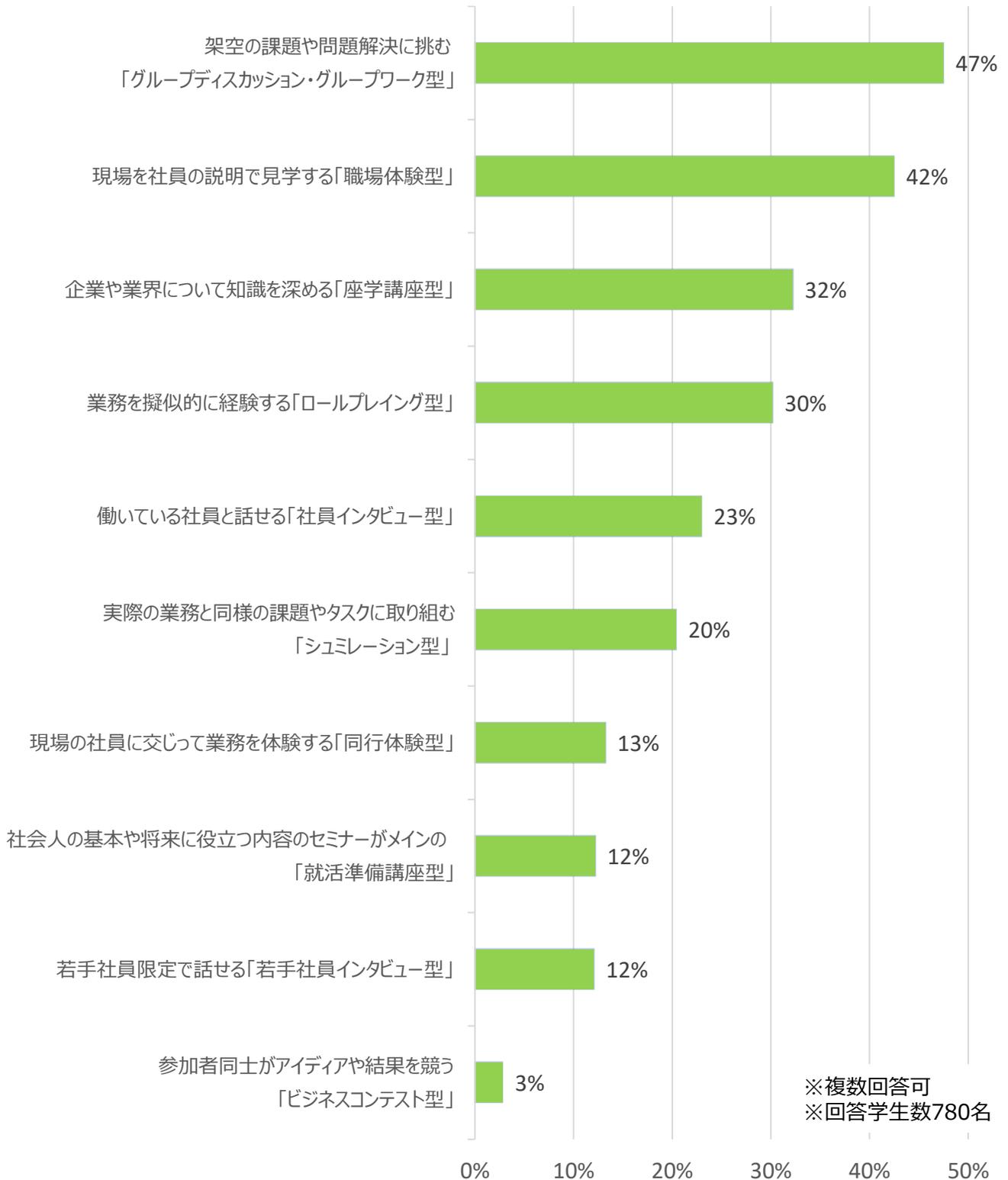
## 1.6 参加したインターンシップの時間

参加したインターンシップの時間として最も多かったのは【半日】となった。



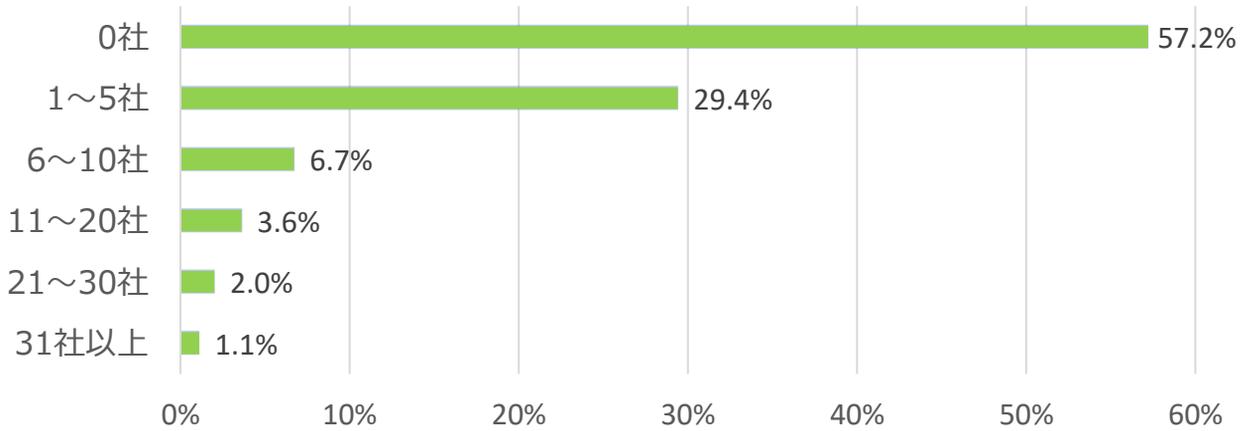
## 1.7 参加したインターンシップ<sup>o</sup>

最も多かったのは【架空の課題や問題解決に挑む「グループディスカッション・グループワーク型」となった。  
次いで【現場を社員の説明で見学する「職場体験型」】となった。



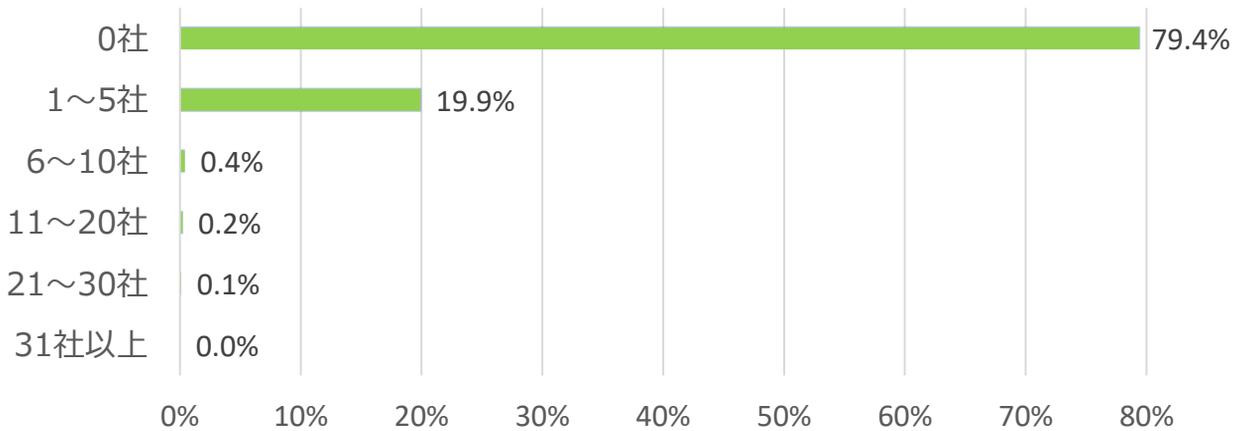
## 1.8 プレエントリー社数

プレエントリー社数について最も多かったのは【1～5社】となった。また、エントリーしたことがない学生は全体の57%となった。



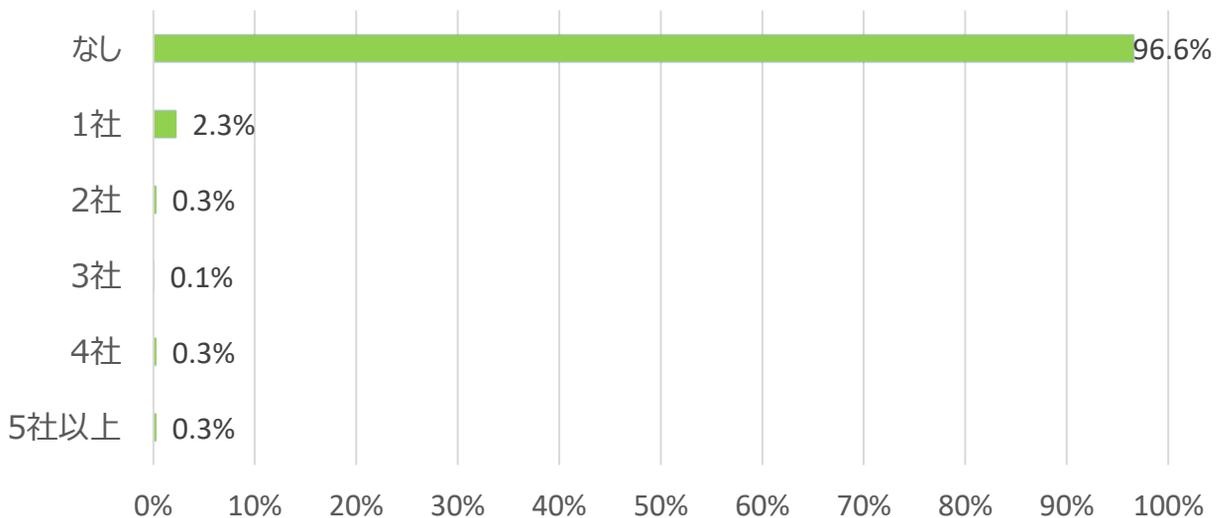
## 1.9 面接受験社数

面接を受験したことがある社数について最も多かったのは【1～5社】となった。また、全体の約80%はまだ面接を受験したことがないと答えた。



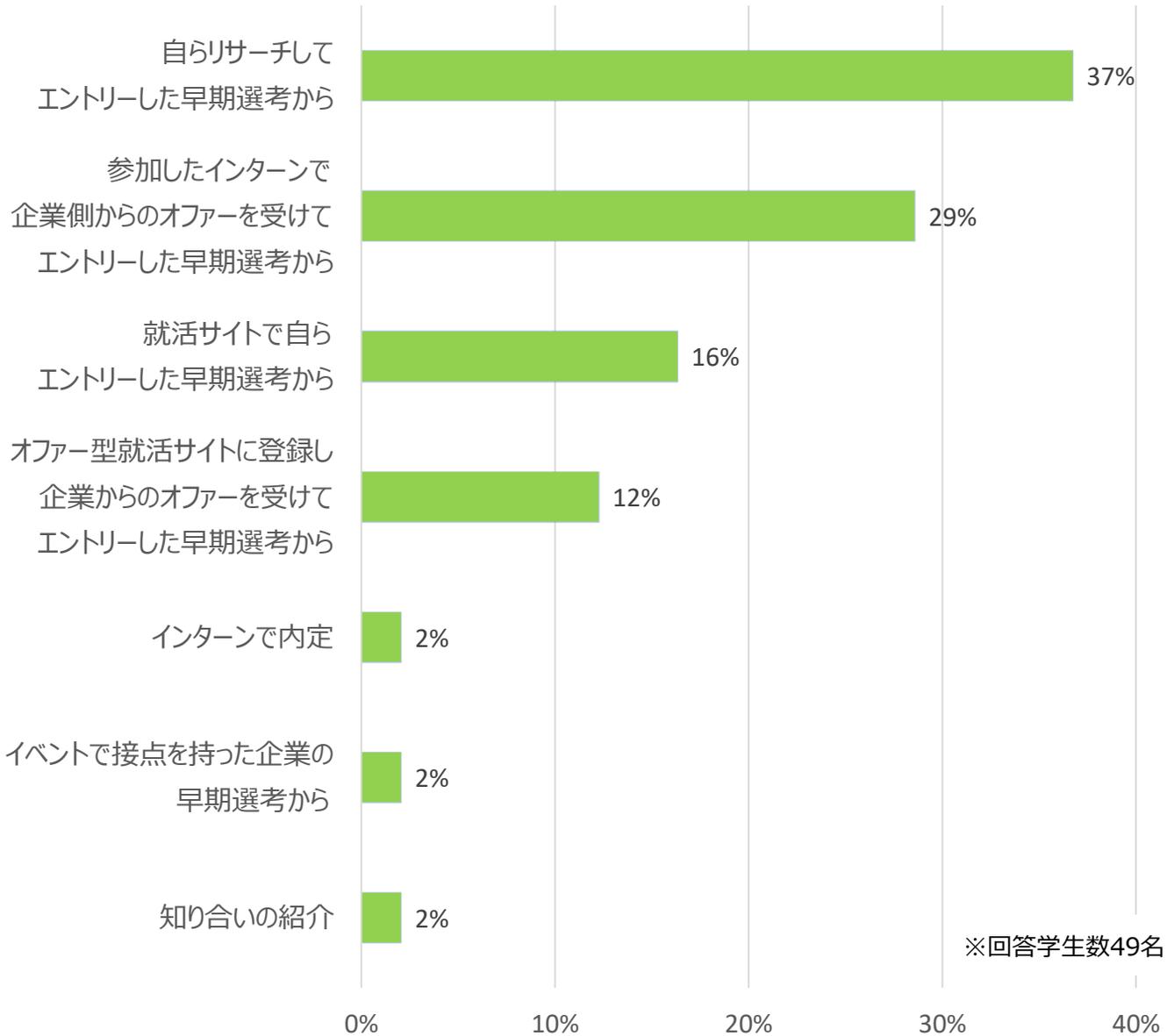
## 1.10 内々定社数

内々定状況について質問をしたところ、内々定を獲得している学生は3.4%だった。



## 1.11 内々定の経緯

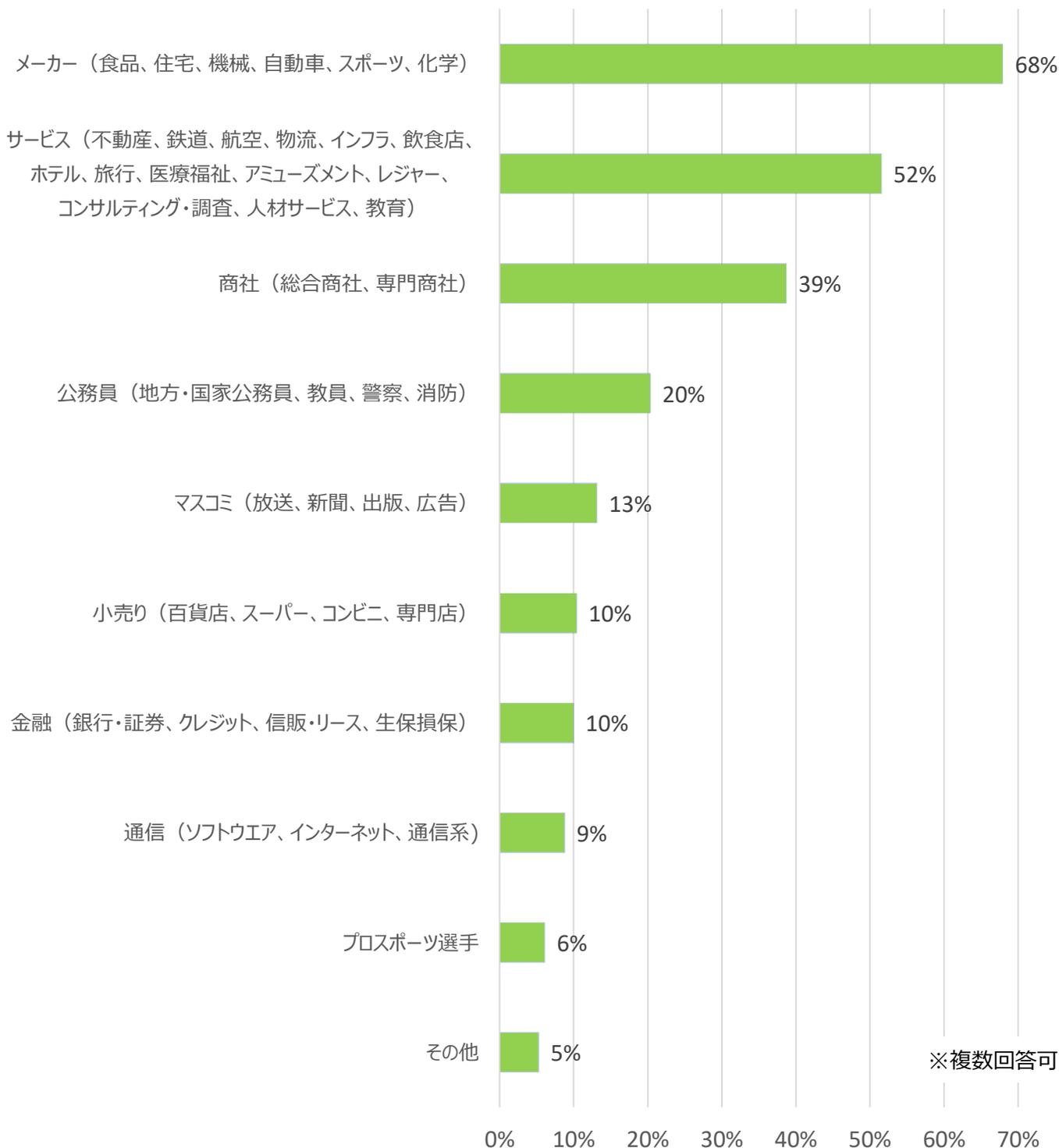
内々定の経緯としては、【自らリサーチしてエントリーした早期選考から】と回答した学生が最も多く、全体の37%となった。次いで、【参加したインターンで企業からのオファーを受けてエントリーした早期選考から】となった。



## 2. 志望する条件

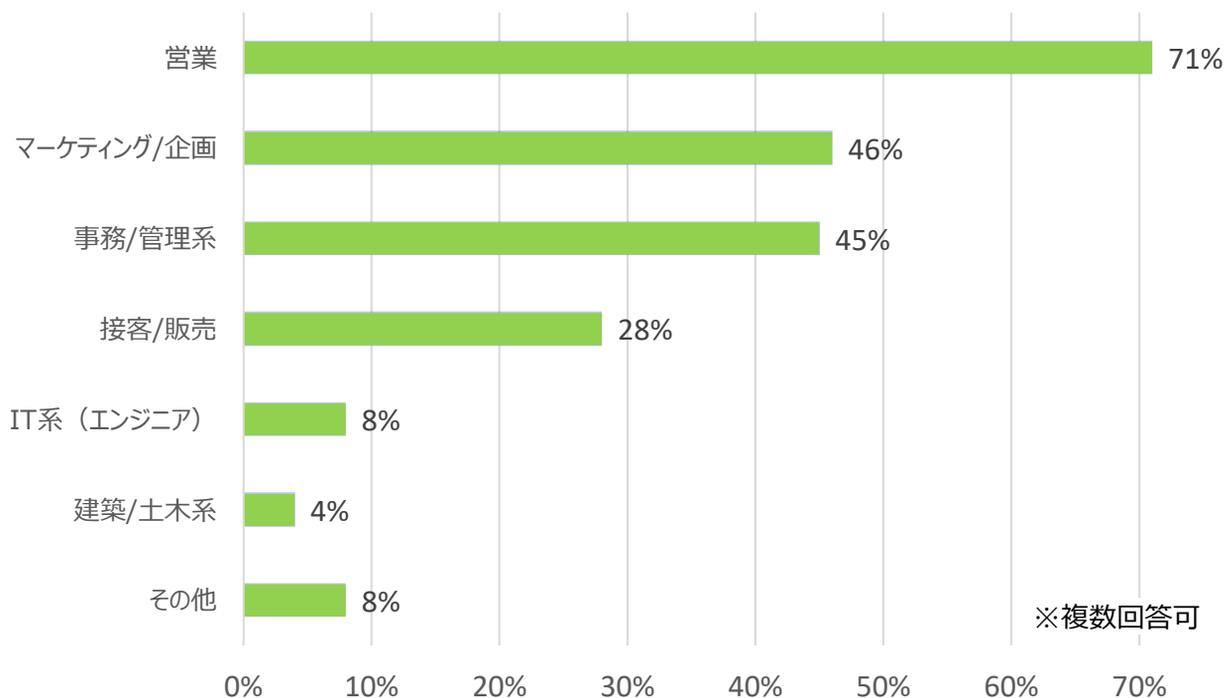
### 2.1 志望する業種

最も多かったのは【メーカー（食品、住宅、機械、自動車、スポーツ、化学）】となった。  
次いで【サービス】、【商社】となった。



## 2.2 志望する職種

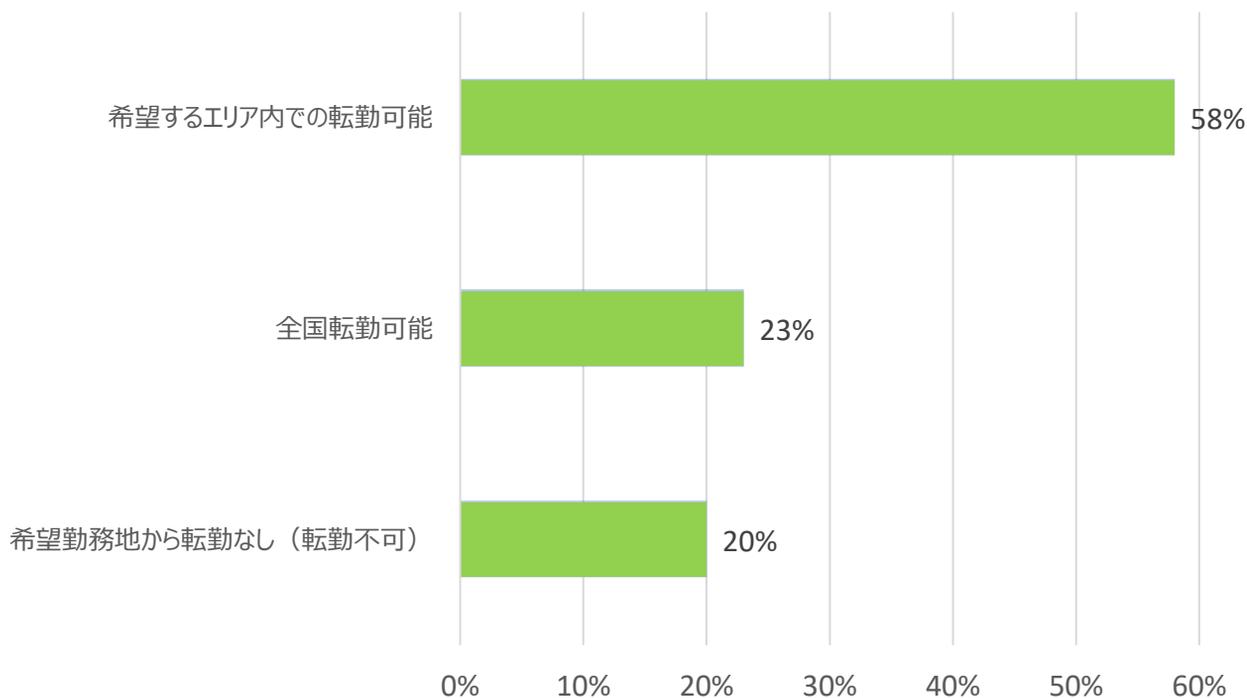
最も多かったのは【営業】となった。次いで【マーケティング/企画】となった。



## 2.3 志望する勤務地

【希望するエリア内での転勤可能】と回答した学生が最も多く、58%だった。

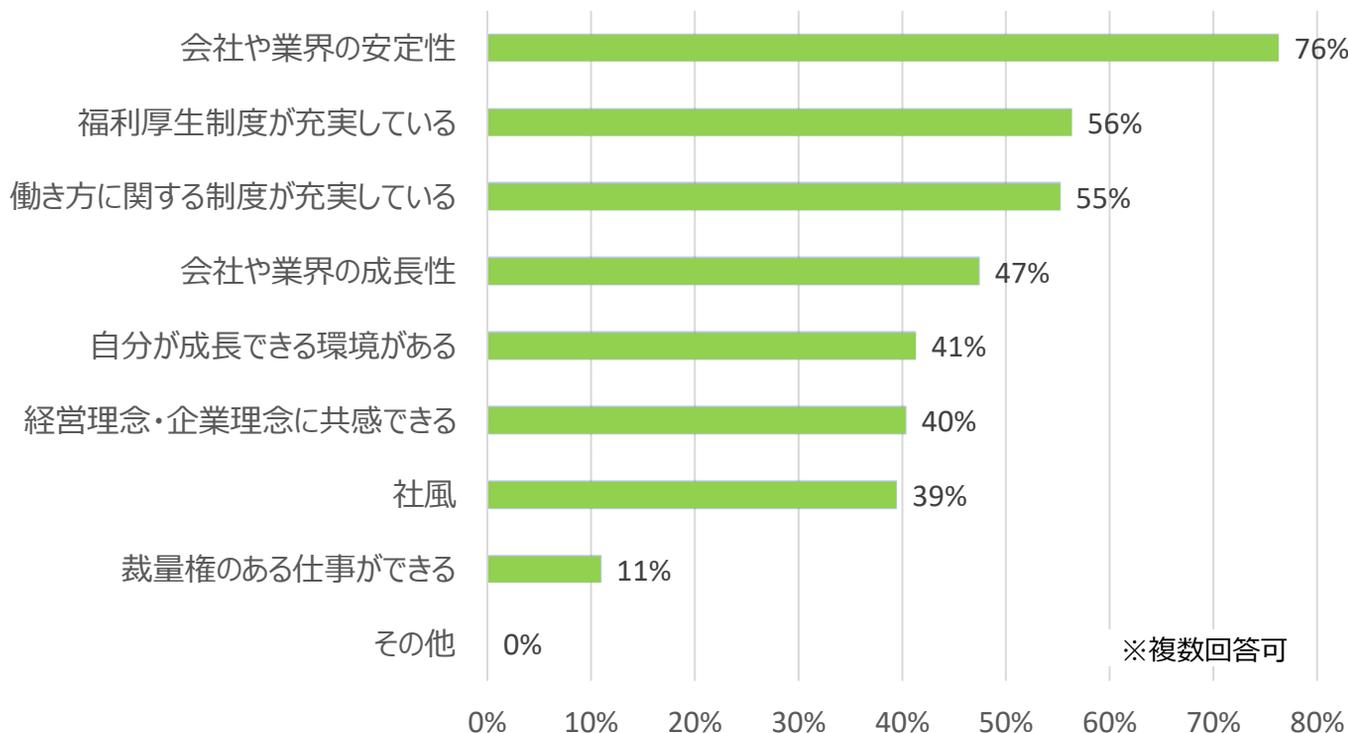
また、約4人に1人が【全国転勤可】と答えた。



## 2.4 企業選択のポイント

企業選択のポイントとして最も多かったのは【会社や業界の安定性】となった。

次いで【福利厚生制度が充実している】と回答した学生が多かった。



## 2.5 将来のキャリア

「新卒で入社する1社で働き続けたい」という回答が最も多く、全体の約半数となった。

「転職も視野に入れている」という回答は、38%であった。

